

ソーシャルスキルからライフスキルへ

WHOが掲げるライフスキル10項目

(Life Skills Education in School より)

- ・意思決定スキル
- ・問題解決スキル
- ・創造的思考
- ・批判的思考
- ・コミュニケーションスキル
- ・対人スキル
- ・自己認知
- ・共感的理解
- ・情動に対処関係するスキル
- ・ストレスに対処するスキル



高校への引継ぎ

高校への引継ぎ（仙台市の取り組み）

※中高連携サポートシート

（仙台市教育委員会作成）

中高連携サポートシートの活用

実態に関する情報

サポートシート中学校記入用（記入例） 記入日：平成 年 月 日

出身中学校 卒業年度	仙台市立 第 中学校 平成 20年度卒業
中学校担任氏名印【職名：教員】氏名	広 瀬 ふたこ 印
中学校長氏名印 氏名	仙 台 市 立 印

これまでの支援の経過

サポートシートを用いて進学先である「仙台市立〇〇高等学校」へ引継ぎ

平成 〇〇年 〇月 〇〇日

保護者氏名 〇〇 〇〇

連絡先 〇〇 〇〇

1 生徒は、自分の障害を理解・受容しているか。

() 本人は、障害を理解し、受容している。

() 〇 本人は、障害を理解しているが、受容していない。

() 本人は、障害を理解していない、もしくは、受容していない。

2 生徒は、サポートシートを用いた引継ぎについて知っているか。

() 高等学校へ提供することを、本人に説明し、了解を得ている。

() 高等学校へ提供することを、本人に説明したが、了解を得られなかった。

() 〇 高等学校へ提供することは、本人に説明していない。

3 入学当初に、特に知っておきたいこと【主な課題】

保護者は、本人に障害を伝えてはいるが、学校には伝えていないと本人に話している。学校が本人と関わりを持つときに障害に配慮しない配慮が必要である。

自分からいこうと決意を固める。配慮を希望する。

不安になるが、不安を取り除くような声掛けを多くすると安心して行動する。

本人と接するうえで受け付けられないこと、関心のある障害を受容していないなど、本人の特性、配慮すること、その他を記入する。

対応方法、補助員等

目 対応や配慮（環境・有効な支援や対応）

例）机等は、必ず置く部分を決めてチャージで固いにした。

決められた部分を等々することを目標にしたところ、書き出す事が見られた。

進捗を教員のほかに、教員が声掛けしやすい位置にしている。本人も教員に質問しだまし、安心できた。

担当：児童「発達障害の子供」サポートセンター、職業紹介支援員（保護、教育現場、発達障害、支援者養成、グループ）

保護者や本人の
思いや願い

中高連携
サポートシート